

北マリアナ諸島海外安全対策情報

(2025年10月～12月)

1. 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題はなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られません。対日感情も良好です。

2. 一般犯罪・治安情勢

当事務所が新聞報道等により把握している管轄地域内の当該四半期における犯罪種類別の発生状況(件数)は、殺人(0件)、強盗(1件)、暴行・傷害(4件)、性犯罪(3件)、詐欺(0件)、麻薬(1件)、侵入窃盗(3件)、窃盗(ひったくり、置き引き、車上狙い等を含む)(1件)、その他犯罪(0件)です。昼夜を問わず、強盗事件や窃盗事件、暴行事件が確認されていますので、このような事件に巻き込まれないよう、十分気を付けてください。

当該四半期における主な犯罪事例は次のとおりです。

●10月1日昼、サイパン島ガラパン地区のポーカー店で、男がキャッシュナーにトイレの鍵を開けるように頼み、キャッシュナーが離れたすきにレジに入り、戻ったキャッシュナーにキャッシュレジスターの鍵を開けさせ、騒いだら殺すと脅し、現金5,052ドルを奪った。監視カメラから容疑者が特定され、後日逮捕された。

●11月24日、サイパン島ガラパン地区のレストランの倉庫に男2人が侵入し、金品を盗んで逃走しようとしたところ、レストランのオーナーが容疑者を捕まえ、その後警察官が現行犯逮捕した。

●11月24日、サイパン島ガラパン地区の元免税店の建物に男2人が侵入し、4,000ドル相当の銅線を窃盗し、1人は逮捕され、もう1人は逃走中である。

●11月27日、サイパン島チャランピアオ地区のATMで、男が年配の女性から財布をひったくろうとし逮捕された。事件に気づいた男性が男に財布を返すように促したが拒み、警察官が現場に駆け付けた際に応じた。

●12月16日、サイパン島の北方諸島市長室に男が侵入し、衛星インターネットサービスパッケージ、衛星電話、ライフル銃等、2,761ドル相当を窃盗して逮捕された。

3. テロ・爆弾事件発生状況

情報には接しておりません。

4. 誘拐・脅迫事件発生情報

情報には接しておりません。

5. 日本企業の安全にかかわる諸問題

特にありません。